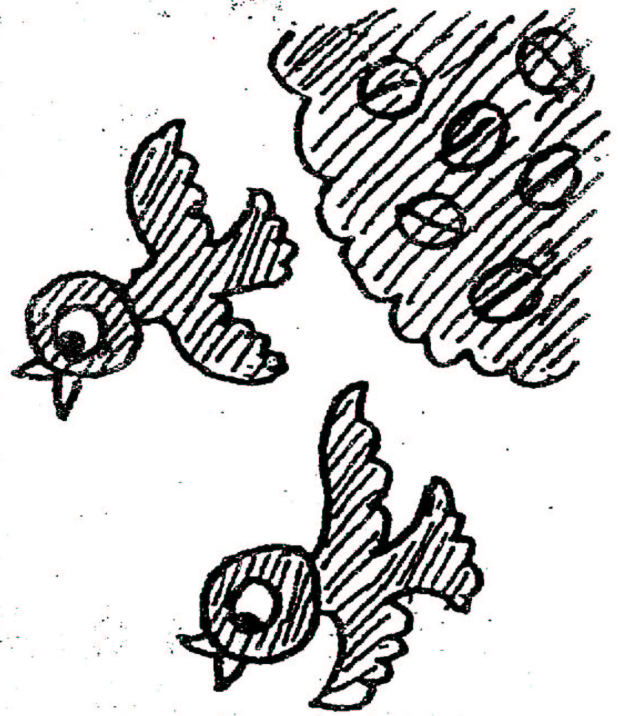


1995. 4. 3 No. 45

バンクラテンニと

手をつなく会



# おもしろい総会になりそう.....

みんなで行きましょう！

とき 4月22日(土)  
2:00~  
ところ 早良市民センター

充実した内容

の総会・でも

カラムディ村の動物が

登場するロールプレイ(寸劇)

もあるんです。おたのしみにも

関心のある方どなたでもどうぞ



# 日本とバングラデシュ

## 子どもたちの交流を

「手をつなぐ会」の活動は  
幼児・小学生・中学生へと  
広がっています。

日本とバングラデシュの子  
どもたちが絵や手紙で交

流することがもっと確実に

継続できるように。

そのためのグループをぜひつく  
りたい。できれば高校生・大学生

青年と広げ

られたらどん

なにいいでし

よう。



## 会員をふやす

活動は前進し広がって

行くのに会員の数は

まだ少ないのです。

会員をふやすことを

具体的に考え、まわりによびかけたい  
と思います。



## 事務的なことを

### スムーズに

いま、会計、発送作業などを

どう合理的にして行くか。

何人かで考え、やっているところ

です。たくさんの方がかかわって

スムーズにはこが

ようにして

行きましょう。



# 4月22日総会で考えること

## 力をつけるために

手をつなぐ会はみなさまのご協力のおかげで充実した活動ができています。

そこでもう一歩前進するためにもっと一人ひとりの力が出せるようにしたいと思います。

バンングラデッシュのこと、アジアの現状、世界のうごき、日本とアジアNGOの活動……

勉強会を定期的にする。

他のグループと

一緒に行動

する……など。



## 現地へ行く人と行かない人と ひとつ思いに

この夏  
また何人かが

現地訪問をします。

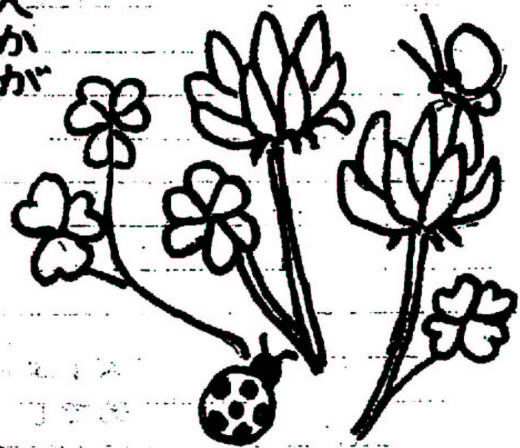
行きたいけれど行けない人

がたくさんいます。

行った人と行かない人が同じ

気持ちで活動できるように、具体

的に考えたいと思います。



### 母子保健センターの 医師が決まりました。

カラムディ村の母子保健センターにノルジャマン医師が決まりました。ノルジャマン医師は、ガンニ（日本の郡に相当する行政単位）の国立病院の医師です。カラムディ村のピレッジ・ドクターが組織化され、自分たちの知識を高めようと考えたとき、彼は協力を申し出、これまで2年間ピレッジ・ドクターの研修を担当しました。彼は村人の健康改善に理解があり、ボランティア活動にも関心を持っています。バングラデシュでは、国家公務員を辞めて民間で働くことはたいへんなことです。彼は、この2年間で村人やピレッジ・ドクターと親密な関係を作り上げ、それを元に村の保健衛生の向上に力を入れてくれるでしょう。何もないところに資格のある医師が来てくれることは何よりもうれしいことですし、私たちも心から歓迎しています。

しかし、これから問題も山ほどあると思います。村から届いた手紙には彼の心配が書いてあります。自分の手で基礎調査をし、計画を立て、それを実行しなければならないこと、また家族のこと、子供の教育のこと、仕事の安定性のことなどです。たとえば、自分の将来はどうなるか、つまりカラムディ村母子保健センターの安定性はあるのか、給料体制はどうか、専門知識を高めるために定期的な研修の機会はあるか、いろんな計画を実現するために必要なサポートを得られるかどうか、などです。「バングラデシュと手をつなぐ会」はこれらの問題を真剣に考え、判断すべきだと思います。

### 女子生徒の数が増えました。（3つの小学校、中学で）

ここ数年、就学率が急速に増えました。今年2月の段階では、村の3つの小学校に合わせて1055人の子供が通っています。1月（バングラでは1月が新学期です。）に3つの小学校に入学した子供の数は296人。村の子供の何%が就学しているかはわかりませんが、以前と比べると学校に行く子供ははるかに増えていることは確かです。学校に行く年齢の子供の数を把握して、まだ学校に行っていない子供たちに対してどういう働きかけをすべきか、受け入れ体制をどうすべきか、シヨンダニでよく考え、適切な方法を探るように返事を書きました。注目すべき点は、494人の男の子に対して、女の子の数は559人。女の子のほうが多くなるなんて今まで考えられなかった現象です。

また中学校でも女子生徒の数が急速に増えました。今年1月に入学した生徒を含めて、カラムディ中学は男子生徒274人に対して女子生徒の数は159人。私の時代には、女子生徒は1割以下だったのに。親も子供も教育に関心を持つようになったのでしょう。また村で、みんなが安心して教育を受けられる環境ができてきた、とも言えるでしょう。（ラフマン記）

# カラムディ村母子保健センターへ

## 医療機器を送ります。

ご協力ありがとうございます

先月のミロンや新聞などを通して今年の7月にオープン予定の「母子保健センター」の医療機器を募集しました。8件の申し出がありました。中でも、北九州のある医院の院長と事務長さんは、病院を閉鎖するにあたってまだ使えるたくさんの器械を寄付して下さいました。診察台、椅子、血圧計、身長計、乳児用体重計、手術台と手術器械、患者用ベッド10台、点滴スタンド、冷蔵庫、レントゲン撮影装置、その他看護婦用のユニフォームなどもいただくことになりました。



その他にも、同じ北九州の別の医院からは超音波診断装置、小倉の薬局の方からは車椅子、また福岡市内や中には唐津市の医院などからも超音波診断装置や折り畳みベッド、などなど多くのご好意が寄せられました。これらの運搬や保管に関してもある医療器械の会社が積極的に協力を申し出て下さりました。

現在、これらの協力を申し出て下さった方たちと連絡をとりながら、まず必要な機器を選択したり、古くなった器材の錆び落としをしたり、バン格拉の税関に提出するためのリストを作ったりして、現地に送るための準備を進めているところです。

これらの集まった医療器械は、第1陣として4月末ごろに門司港から船便で輸送する予定です。この輸送に当たっても、輸送会社の方がNGOの活動ということで積極的に協力して下さいることとなり、協力の輪が大きく広がりつつあります。

また今後も、さらに必要な医療機器を募集する予定です。  
今後ともどうぞご協力ください。

3月18日(土)いつもの福岡学生交流会館で開かれた

## NGO福岡ネットワーク3月定例会では

まず、「水俣に学ぶ」(NHK番組の録画)のビデオを全員で鑑賞したあと、本題に入りました。ニューヨークのシナゴス研究所から、今年も日本を訪問して、日本のNGOと南のNGOをともに交えて交流を図りたいという提案が来ています。昨年は福岡市と翼の会が受け入れ団体となって「地球市民フォーラム」が実現しました。今年により実際的に、お互いに顔を見知った関係を作り、経験や情報を交換しあい、学びあうという意味で、ネットワークとしても貴重な機会と考え、原則的に受け入れることとしました。ただし、時期の問題、資金の問題、内容の問題など、いくつかの問題が残されています。

そのほか、NGO初級会計セミナーに参加した、内田さんと今村さんからセミナーの報告がありました。これからも「NGO活動推進センター」をはじめ各種のセミナーや研修が開催されると思います。

次回のNGO福岡ネットワークは

5月20日(土) 午後2時～5時

福岡市学生交流会館で

「南北問題と開発教育」の輪読を中心に行います。

太宰府西小の子ども達が卒業しました！！

おめでとう！！



太宰府西小学校の6年1組のみなさんが、3月17日卒業しました。彼らが5年生のとき、特別カリキュラムの中でカラムディ村のことや、ボランティアのお話をしました。その後彼らは老人ホームへの訪問や空き缶拾い、お年寄りへのお手紙、清掃ボランティアなどを通じてたくさんの事を学んだようです。卒業にあたり、彼らから、それぞれの思いをのせて、ひとりひとりお手紙をいただきました。彼らの前途をお祝するとともに、ボランティア(自立)の精神を大切に何事も積極的にチャレンジしてほしいとのエールの返事を送りました。 文責：今村

3月11日~12日

JANIC (NGO活動推進センター) 主催の  
NGO会計セミナーに参加しました

JANICは東京に事務所があり市民による国際協力組織 (NGO) 間の協力とNGO活動の向上を目的としている団体です。その活動は

- 1 NGO間のネットワーク作り、及び関係機関との協力関係の促進
- 2 NGOの人材育成及び組織強化
- 3 地球市民学習の普及
- 4 調査研究及び提言
- 5 情報サービス及び相談事業
- 6 NGO活動に関する書籍等の翻訳・出版などが行われています。

今回は、NGOに対する会計セミナーが(財)福岡県国際交流センター会議室にて開催されました。多桁式帳簿の作成の実習を主体とした研修会でした。NGOの会計や家計簿にも応用出来そうで、とても役に立ちそうな記帳法でした。NGO団体もある程度大きくなってきて社会的にも責任が生じてくると、会計をはじめ事務処理の効率化・標準化・適正化といったことが求められることを学んだ2日間でした。 文責：今村

福岡県職労女性部研修会にて

## バングラデシュの女性をめぐる状況

についてお話ししました

2月25日 福岡市中央区の黒田荘で福岡県職労女性部主催の研修会が開催されました。これは女性の県職員を中心として女性に関することを広く学ぼうと定期的に行われる学習会で、約50名程の女性の参加がありました。今回のテーマは「アジアと日本の関係について」で、午前中は朝日新聞社のOBの松井やよりさんの基調講演の後、午後は4人のパネラーが参加してパネルディスカッションが催されました。その4人のうちのひとりとして今村さんがバングラデシュの女性の状況や課題を中心としてお話をしました。カラムディ村や「バングラデシュと手をつなぐ会」の紹介の後、昨年森さんが中心となって調べていただいたお産の状況や母子保健センターの必要性を訴えました。また女性のエンパワーメントの開発が大切な事から、女性の教育の更なる推進が今後の重要なプロジェクトのうちのひとつであることを説明しました。フリーディスカッションの場では、特にジェンダーバイアス(女性への偏見)や、競争社会をしっかりと支えている男性の考え方を変える必要性などが熱心に話し合われました。

(7)

## 募金ありがとうございました

(団体分のみ掲載しました。)

矯風会蒲田支部	3000円
周船寺第2幼稚園	10000円
福岡トヨペット労組	276290円
日本キリスト教団	10000円
一番町教会子供の教会	
太宰府西小学校元6年1組	10500円

## お知らせ

### チャリティバザール

6月4日(日) 午後1時～  
西新商店街住友生命ビル前  
みんなで楽しくやりましょう。  
もう一度、家の中を見てみましょう。  
不用品(新しいもの)はないでしょうか。

### チャリティコンサート

4月22日(土) 午後6:30～  
7:15開演

ピアノ ジャン・T・モック  
司会: ベアタ・ボホロディチ  
会場: 城南市民センター  
総会のあと、コンサートへどうぞ

### 運営委員会

4月16日(日)

5月7日(日)

いずれも1:30～大木さん宅

### 作業日

4月5日(水) 6日(木)

5月10日(水) 11日(木)

1:00～ 大木さん宅

### バン格拉デシュと手をつなぐ会

☎814

福岡市早良区西新5-5-13

TEL・FAX 092(822)5795

代表 大木 松子

郵便振替 01720-2-10442

加入者名(8)

バン格拉デシュと手をつなぐ会